

答①はい②どちらとも言えない③いいえ

質問21)鏡を見るのが嫌だと思えますか？

答①はい②どちらとも言えない③いいえ

質問22)今の生活に張り合いを感じていますか？

答①はい②どちらとも言えない③いいえ

質問23)生きていても仕方がないと思えますか？

答①はい②どちらとも言えない③いいえ

質問24)趣味や楽しみを持って生活していますか？

答①はい②どちらとも言えない③いいえ

質問25)これから咲き何か楽しいことが起こると思いますか？

答①はい②どちらとも言えない③いいえ

質問26)あなたは最近何かに感動しましたか？

答①はい②どちらとも言えない③いいえ

質問27)障害に対する偏見を感じますか？

答①はい②どちらとも言えない③いいえ

介助犬レシピエント（申込者）参考資料 （キーパーソン〈最も身近な家族、友人など〉用）

【日付】平成 年 月 日 介助犬協会作成

【あなたのお名前】（ ） 【あなたの年齢】（ ）歳

【あなたの住まい】（ 都道府県 市町村）

【レシピエント（申込者）氏名】（ ）

【レシピエント（申込者）との御関係】（ ）

【質問】以下の質問にお答え下さい。

<質問1>レシピエントと知り合ってどのくらいの期間になりますか？

（ ）年くらい

<質問2>レシピエントと知り合ったきっかけは？

（ ）

<質問3>あなたから見てレシピエントはどんな性格ですか？（例、社交的、内気など）

（ ）

<質問4>あなたは介助犬によりレシピエントの生活（人生）が変化すると思いますか？

a.非常に改善されると思う b.やや改善されると思う c.何ともいえない

d.あまり改善の期待はできない e.全く改善される期待はしていない。

f.その他（ ）

<質問5>上記<質問4>で選択肢 a又はbを選ばれた方のみお答え下さい。

その変化は具体的にどのようなものを期待しますか？

a.肉体的変化（ ）

b.精神的変化（ ）

<質問6>あなたは今までレシピエントが混乱（狼狽）したり激怒しているところを見たことがありますか？

a.見たことはない。 b.見たことがある。

→bの場合、レシピエントはどの様に対処しましたか？例：周囲に当たり散らす

（ 対処法： ）

<質問7>あなたに対してレシピエントは今まで自分の障害についての苦しみや悲しみを

表したことがありましたか？ a.ある b.ない

<質問 8 > レシピエントが介助犬と生活することについて家族や友人の後援が期待できる
と思いますか？ a.期待できる b.期待できない

<質問 9 > レシピエントが以前、何かペットを飼っていたか知っていますか？
a.知らない。 b.知っている。(種類)

<質問 10 > 上記<質問 9 >で選択肢 b を選ばれた方のみお答え下さい。
レシピエントにとってそのペットはどの様な存在だと感じましたか？
{例、子供同然、単なる観賞用など} ()

<質問 11 > あなたが、もしもレシピエントから「介助犬の世話」を頼まれたら継続して
引き受けられるかどうか該当するもの全てにをつけて下さい。
a.不可能 b.食餌 c.排泄物の処理 d.散歩
e.介助犬自体の健康管理（投薬、予防接医など獣医師への通院など）

介助犬レスピエント参考資料(担当医への相談・質問事項) 介助犬協会提供

【日付】平成 年 月 日

【あなた(レスピエント)の氏名】()

あなたが介助犬と生活をしていく上で医療面に関する次の二項目について当介助犬協会に報告して下さい。

【項目1】担当医と十分相談の上、教えてもらってあなたが記入して下さい。

<1>診断名(病名) *合併症もあれば聞いて下さい

1 ()

2 ()

3 ()

<2>主疾患の発症時期

昭和 ・ 平成 年 月頃

<3>担当医からのコメント

1) 疾患の予後(障害が今後どのように進行する可能性が高いか?)

()

2) その他のコメント

()

【項目2】できれば健康診断書を添付して下さい。(一般的なもので結構です。)

介助犬をそだてる会資料

(2 ページ)

■ 会員登録用紙 ■

ふりがな
氏名

住所 〒

電話 () FAX ()

職業 勤務先

住所 〒

電話 () FAX ()

E-MAIL

一般会員 マスター会員 団体・法人会員

※住所変更・退会時等の場合は、すみやかに御連絡下さい。

●自己紹介・ご要望がございましたら御記入ください●

Comments

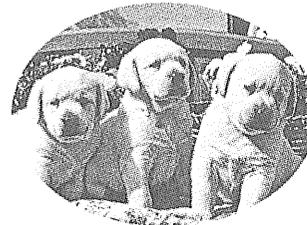
介助犬をそだてる会

介助犬の育成及び普及、身体機能障害者や介助を必要とされる方に介助犬使用指導等を行うことにより、より安全で快適な日常生活及び、自由な外出を確保してその社会参加を促進する事を目的に1995年に発足した非営利団体です。

介助犬に対する知識や問題点に関しての御相談、介助犬トレーニングに関する問い合わせにも応じています。

又、当会で育成された介助犬だけでなく、その他の介助犬などもコーディネートし介助犬の社会的地位の向上と、介助犬を通じ障害者や高齢者のQOL(生活の質の向上)も同時に高め、障害のある人もない人も共に楽しく暮らせる社会を目指しています。

介助犬をそだてる会は中立の立場で活動しています。
当会は「人にも動物にもやさしい街創り」を目指しています。



■□■ 介助犬をそだてる会 ■□■

事務局 〒603-8427 京都市北区紫竹上緑町48-3
TEL (075) 495-0419 FAX (075) 495-0435

INTERNET E-MAIL: kaijoken@kbic.ardour.co.jp
U R L : http://kbic.ardour.co.jp/kaijoken/

Service Dog Raising Association



Service Dog



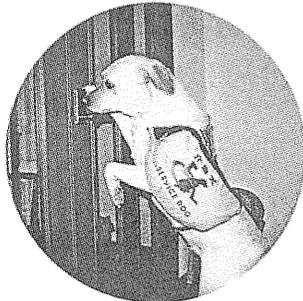
介助犬とは？

身体機能障害者や介助を必要とする人の日常生活において介助動作をするようにトレーニングされた犬の事を介助犬(Service Dog)と呼びます。広義では、盲導犬・聴導犬等も含まれますが一般的にはこれら以外の身体機能代行を行う犬を介助犬と呼んでいます。

具体的には
どんな事をしてくれるの？



- 荷物を持つ
- ドアの開閉
- ボタンを押す
- 着替えの手伝い



- 歩行時、起立時などで支えとなる



など、マスター(飼い主)のニーズによって介助動作は異なります。

ボランティア募集!!
イベント等での
お手伝い
パソコンを使った事

募金活動
募金箱設置
イベント企画
パピレイザー
その他

どんな事でも結構です。
ボランティア登録も随時受け付けております。

会員登録のお願い

介助犬の育成には多額の費用が必要です。その費用はすべて皆様からの会費や御寄付・募金活動で賄われています。公的支援が一切ない中、介助犬を育成するには民間企業・一般の皆様の御協力がとても重要になっています。会員の方には年2回から3回の会報やお知らせをお送りさせていただきます。

■ 会員登録方法

会員登録用紙に必要事項を必ず御記入の上、切り取ってお送り下さい。同時に、会費については下記の指定口座にお振込いただく。現金書留にて事務局までご送付いただきますようお願いいたします。

【銀行振込】

介助犬をそだてる会
京都銀行 上堀川支店
普通 29270

【郵便振込】

介助犬をそだてる会
口座番号 01020-6-24849

【現金書留】

介助犬をそだてる会 事務局
〒603-8427
京都市北区紫竹上緑町48-3
(075) 495-0419

■ 会 費

一般会員：1口¥ 5,000 以上
マスター会員：1口¥ 5,000 以上
団体会員・法人会員：1口¥50,000 以上

尚、年会費は毎年4月1日から翌年3月31日までとし、途中で入会された場合でも次年度の会費はお支払い頂きます。一旦入金していただきました会費や募金は、いかなる理由があっても御返却できませんので予め御了承下さい。



● 事業内容 ●

- 介助犬の育成、及び普及
- マスターの介助犬使用法指導
- 介助犬の普及に関する啓発活動
- 介助犬の審査・登録
- 介助犬の保健衛生管理
- 介助犬の公共交通機関への添乗及び公共施設等への入場の促進をはかる為の活動
- 介助犬に関する調査及び研究
- 他国団体への視察

その他、目的達成に必要な事業

介助犬をそだてる会では



- 介助犬に興味のある方
- 介助犬トレーナーやトレーニング方法
- 介助犬に関する啓発活動の御依頼
- 介助犬と共に生活されている方や、希望される方

等のお問い合わせや御相談に応じています。その他、当会では対応できる事や情報を提供いたします。

御寄付のお願い

ボランティアにより運営されている当会では、会報やその他諸経費にはできるだけ予算を使わず、介助犬育成に費やされます。しかし、諸経費にかかる負担はかなり大きいのも現実です。振込先及び郵送先は会費納入先と同じです。どうか御理解の上、皆様からの暖かい御協力と御支援をお願い申し上げます。

